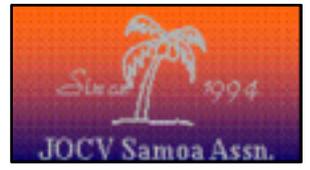




Manuia



サモア人が立ち上がった

避難所慰問

の3・11で被災されながら仙台から駆けつけたミリアマさんの紹介などの話で、

2011年6月5日(日)、在日サモア人のみなさんが、福島県双葉町住民の避難所、埼玉県旧騎西高校を慰問に訪れました。

冒頭、エテウアティ大使より2009年9月にサモア沖地震の津波で大きな被害を受けた話や、今回

避難所のみなさんとサモア人の気持ちは一気に近づき共感し合えたように感じました。この日は双葉町への初めての一時帰宅が実施されたこともあり、比較的年配の方が多く見受けられ、避難生活に疲れた方々の反応も心配でしたが、

健志郎くんの見事なホラ貝が響き渡ると、中庭はみるみる立ち見客であふれ、エンターテインキング・ビストロさんの

「ミリミリミ リミリパチャ」のかけ声で、見事、一瞬のうちにサモアンワールドに！誰もが一緒に参加して楽しんでいた！そして始まったハオーマンス。丁寧な日本語での説明があつたので、遠いサモアの暮らしや文化を垣間見ながら楽しめた

のも良かったですね。優雅でかわいらしい「ティネシバ」、かつこよさもコミカルさも味わえる「タマシバ」、勇壮な「シバタウ」、初めてみるホンモノのダンスに会場中が釘づけ。

根っから明るく賑やかなサモアのダンスと観客にボーダーがなく一緒に楽しめるのもサモアダンスの魅力。双葉町の町長さんも一緒に踊ってください、避難所にほんのひと時の楽しい時間を創り出せました。最後は全員で歌う「上を向いて歩こう」で締めくくり。終了後も、避難所の皆さんとの握手が絶えなかつたのがとても印象的でした。地震や津波災害の危機を抱える国同士、これからも支え、励まし合い、歴史が育んだ文化から学びながら、交流が深まることを願っています。

【佐藤雅昭・育子 サモアサポーター】

エテウアティ駐日サモア大使より当OB会に対して避難所慰問への協力依頼がありました。このため参加者を募ったところ多くの方の参加がありました。また慰問先が埼玉ということで埼玉県OB会の方々にもご協力いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。



第12号発行

身の危険を感じる程の大きな揺れ、そして数時間かけて厳冬の中家路に着いたあの東日本大震災から早1年が過ぎました。未だに多くの方々が大変な思いをしており、本当に心が痛みます。

当OB会としても何かしらの支援が出来ないかと考えており、良いアイディアがあれば是非お寄せ下さい。

昨年の漢字は「絆」でした。当OB会もサモアという常夏の島を通じて知り合った「絆」の下、世代をそして性別を超え、多くの方々の協力を得て活動してきました。そのお陰で今回第12号の会報発行を迎えることが出来ましたこと心より嬉しく思いますと共に多くの皆様にご協力を頂きましたことこの場をお借りしてお礼申し上げます。

今年JICAボランティア派遣40周年記念、そしてサモア独立50周年と大きな節目です。絆を大事にこれからもサモアの為に頑張ります。皆さんこれまで以上に応援宜しくお願いします。
【大塚一雄 昭和63年度3次隊 SE】